

支援対象国

ネパール連邦民主共和国



ネパールは、世界最高峰のエベレスト（チベット語でチョモランマ）で有名なヒマラヤ山脈を有する山岳国家。北海道の約1.8倍という狭い国土の中に、急峻な地形が凝縮されているのが特徴です。



「世界の屋根」と称されるネパールの山々

急峻な地形に加え、地質が脆いことから、毎年6～9月の雨季には、ネパール全土で洪水・地滑り・土砂崩れ等の災害が起きています。また、国土がプレートの境目に位置するため地震も多発し、たびたび甚大な被害に見舞われています。



2015年の地震で倒壊した建物

災害からの復興には時間がかかります。日本赤十字社はネパール赤十字社、そして世界各国の赤十字社と共に、2015年のネパール地震からの復興支援に取り組んでいます。



ネパールの被災者とともに

皆様のご支援に、感謝申し上げます。
赤十字の活動は、皆さまからのご寄付に支えられています。

ネパール 地震復興支援事業



〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 国際部 開発協力課
TEL: 03-3437-7089

2018年4月作成



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

ネパール地震と復興支援

2015年4月25日11時56分、ネパールにおいてM7.8の地震が起こりました。死者8,856人、被災者560万人。国民の5人に1人が被災するという、甚大な被害が発生しました。

日赤は地震発生の翌日より、最も被害の大きかったシンドパルチョーク郡において緊急救援活動を開始。その後も、主に以下の4つの復興支援事業を実施しています。

1. 住宅再建支援事業

地震で全半壊した住宅は、ネパール全土において89万戸にのぼります。日赤は、再建にかかる補助金の支給や、地震に強い住宅を建設するための技術指導を行っています。



2. 地域保健再建事業



地震により、村々の診療所も損壊しました。日赤は4軒の診療所を再建、現在では24時間体制で村民に医療サービスを提供することが可能になりました。

3. 水と衛生事業

安全な水を供給する設備や、住宅・学校などのトイレも地震の被害を受けました。これらの衛生設備を再建し、被災者の健康を守ることも、重要な支援のひとつです。



4. 生計支援事業



日赤は、村民の生計支援にも力を入れています。村々の主要産業である農業や畜産業の回復・強化を図ることで、被災者の収入の安定・向上を目指します。

事業地・事業期間



日本赤十字社 ネパール代表部

日本赤十字社は2015年9月、首都カトマンズにネパール代表部を開設。現在、日赤職員1名と現地職員6名が、ネパール赤十字社とともに復興支援にあたっています。



ネパールからの声

私たちの新居が
完成しました



「日赤の技術指導は、大変役に立ちました。また地震が起こったとしても、地震に強いこの家であれば安心です」
(ビザヤ・タマンさん：住宅再建支援事業)

診療所が再建されて
助かっています



「私の娘は、日赤が再建してくれた診療所で、初めて生まれた赤ちゃんです。良い医療サービスに感謝しています」
(ブジャ・タパさん：地域保健再建事業)

トマトが実り、新たな
収入源になりました



「家庭菜園の研修に参加し、トマトの栽培方法について学びました。今では収入源のひとつになっています」
(ビマラ・チャパガインさん：生計支援事業)